

2021年2月期第2四半期 決算説明会

サインポスト株式会社



2020年10月22日

目次

1. 2021年2月期 第2四半期決算概況
2. 2021年2月期 通期業績見通し
3. トピックス

1. 2021年2月期 第2四半期決算概況

1-1. 2021年2月期 事業運営方針(4月公表)

- ◇金融機関向けのコンサル及びソリューション事業を安定的に成長
- ◇当社とTTGによる無人AIレジの拡販及びAI応用製品の開発・販売
- ◇事業領域や会社規模の拡大に伴う経営管理態勢の高度化

〔コンサルティング事業・ソリューション事業〕

- ・金融機関を中心とした業務改善ニーズに迅速、かつ幅広くお応えするために、コンサルティングとソリューション事業を一体運営
- ・コンサルティングサービスについては、プロジェクトマネジメント等引き合いが強く、かつ当社の強みである領域を中心に展開
- ・ソリューションサービスについては、既存のバッチ処理高速化「ユニケージ」等に加えお客様のニーズにお応えする新規サービスを展開

〔イノベーション事業〕

- ・経営資源を全体コントロールの下で集中的に投下し、無人AIレジの拡販を推進
- ・独自AI技術の応用や他社との業務提携等により、お客様の業務改善に資する製品・サービスを開発し販売

新型コロナウイルス感染拡大の影響を注視しつつ、
主力事業の成長とイノベーション事業の展開をはかる

1-2. 2020年2月期 第2四半期決算ハイライト ～前期比～

(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	前期比	概要
売上高	1,053	1,016	△3.5%	・コンサルティング事業は、堅調に推移 ・研究開発費が増加
コンサルティング事業	948	960	1.4%	
ソリューション事業	105	54	△47.8%	
イノベーション事業	0	1	432.3%	
営業損益	△27	△352	—	
経常損益	△58	△361	—	
四半期純損益	△82	△335	—	

2. 2021年2月期 通期業績見通し

2-1. 2021年2月期 通期業績見通し

(単位: 百万円)

	2020年2月期 実績	2021年2月期 期初計画 (4月12日公表)	2021年2月期修正計画(10月12日公表)			備考
				前期比	期初計画比	
売上高	2,122	2,305	2,065	△2.7%	△10.4%	•現在の状況踏まえて、下期の計画を見直し •ユニケージの受注計画の見直し •研究開発費が期初計画に比べて2億円増加
コンサルティング事業	1,946	2,100	1,950	0.2%	△7.1%	
ソリューション事業	175	200	110	△37.2%	△45.0%	
イノベーション事業	0	5	5	709.1%	—	
営業利益	△176	△370	△727	—	—	•研究開発費が期初計画に比べて2億円増加
経常利益	△207	△375	△752	—	—	
当期純利益	△260	△378	△737	—	—	

2-2. 資金調達の目的とその用途

資金調達の目的	① 新ビジネスに対する投資資金 ② 既存事業の成長に備えた財務基盤の強化
主な資金用途	• TTGへの追加出資 • 人材採用の強化 • 無人AIレジの開発 • ユニケーションの受注拡大に向けた準備 • 借入金の返済

■ 新株予約権の概要(2020年8月4日発行決議日現在)

名称		第8回新株予約権（行使価格修正条項及び行使許可条項付）
発行方法		いちよし証券株式会社に対する第三者割当
発行概要	想定調達額	19億82百万円
	新株予約権個数	15,700個
	潜在株式数	1,570,000株（希薄化率14.38%） ※2020年2月29日現在の発行済株式数に対する希薄化率）
	行使期間	2020年8月21日～2022年8月22日
行使価格	当初行使価格	1,264円
	行使価格の修正	各行使請求の効力発生日の直前取引日の当社普通株式の終値の91%に相当する額
	上限行使価格	なし
	下限行使価格	885円

中長期的な企業価値向上と業容の拡大に資する施策の推進を強化

3. 今後の事業展開

3-1. 事業内容

- 当社は、「お客さまの一員として、時代のその先に」を旗印に、新たな価値を創出する以下の3つの事業を、相互に関連性を持たせながら展開しています。

コンサルティング事業

- ① 金融機関を中心に、経営・業務課題を解決することに主眼を置き、課題解決策を立案。一般のコンサルティング会社とは異なり、お客さまの一員として、その課題解決の実行までを一貫して行う事業を展開しています。

ソリューション事業

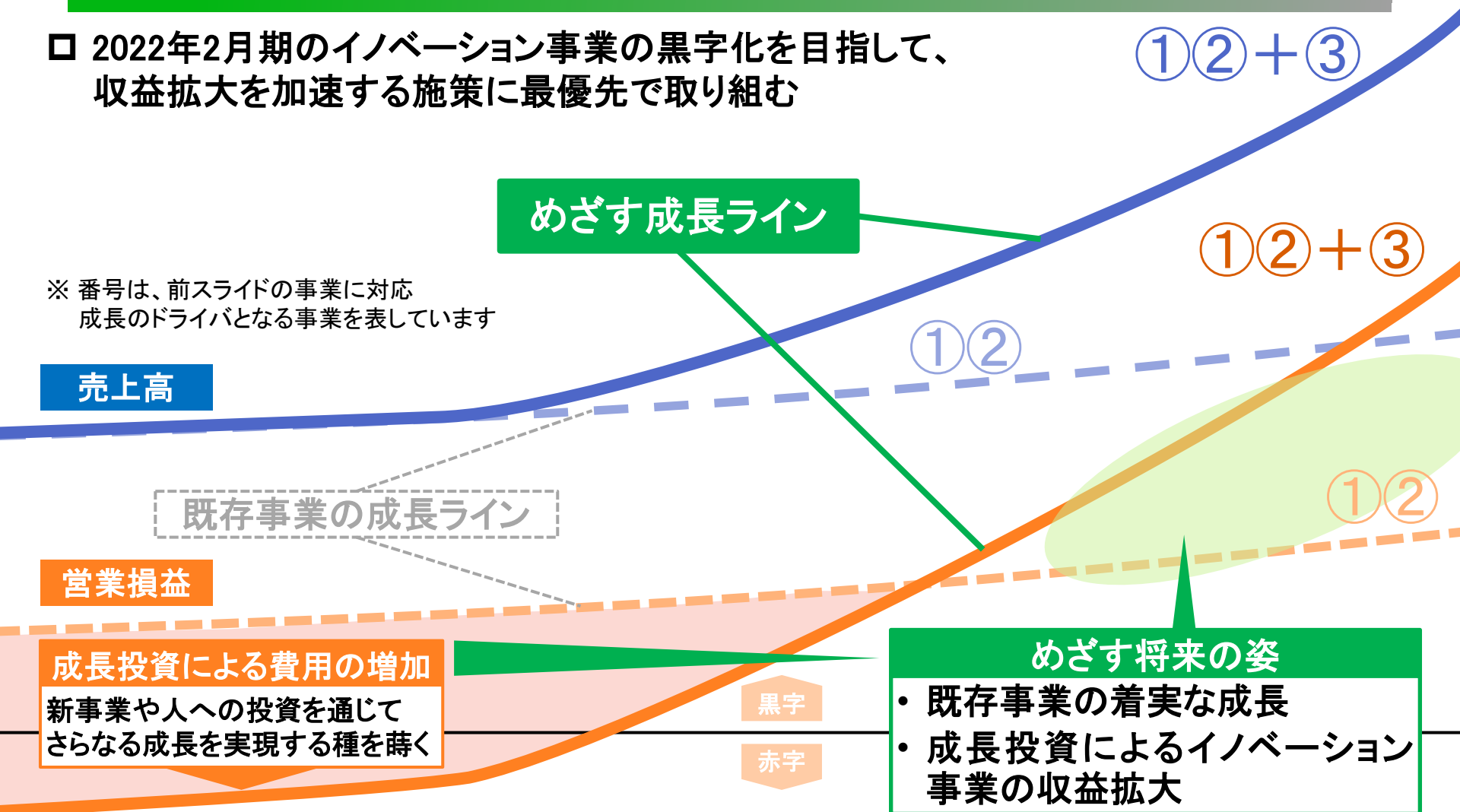
- ② コンサルティング業務等で発掘した経営・業務課題を、先端IT技術を活用して効率的、かつ効果的に解決。業界・業務を熟知した上で、お客さまの立場に立って具体的に課題を解決する点が評価されています。

イノベーション事業

- ③ 当社独自のAI技術「SPAI」や、様々な要素技術を研究開発し製品化。無人AIレジ「ワンダーレジ」をはじめ、社会問題の解決に資するプロダクトを開発、販売しています。
また、JR東日本スタートアップ(株)との合併会社(株)TOUCH TO GOにて、無人決済システムを事業展開しています。

3-2. 成長イメージ

- 2022年2月期のイノベーション事業の黒字化を目指して、収益拡大を加速する施策に最優先で取り組む



3-3 . イノベーション事業の展望

- お客さまのご要望を直接お伺いするとともに、時代のニーズも先取りしながら、社会の課題解決に資する製品を研究開発し販売活動を展開

〔世の中の動向〕

- ▶ 日本の生産年齢人口は減少の一途であり、これをカバーする手段の確立は社会の喫緊の課題
 - ・ 2015年7,728万人から2050年には5,275万人と約32%減少する見込み（出所：総務省HP）
- ▶ セルフレジ市場は今後大幅に拡大する余地のある成長市場
 - ・ 2025年には2019年比2.8倍の市場規模に拡大する見込み（出所：富士経済）
- ▶ コロナ禍による社会情勢の変化
 - ・ 消費者心理の変化に伴い、小売や外食産業で新たなオペレーションが必要に
 - ・ 会社経営においても、withコロナを前提とした新たな取り組みを模索する動きが活発に
 - ・ アフターコロナを見据えて、インバウンド需要や地方創生に対する新たな取り組みが必要

〔当社における動き〕

- ▶ 世の中の動きへの対応とお客さまの業務課題の解決を図るべくイノベーション事業を推進
- ▶ これまでの研究開発、オープンイノベーションの推進、社会実装等を通じて事業展開がより具体化
- ▶ 組織体制の強化や事業体制の整備等を通じて、個社ニーズの収集、営業、開発の推進力を強化
- ▶ 各業態のニーズを捉えた製品の開発
 - ・ 導入や保守性に優れ、かつ廉価な新しいレジ製品
 - ・ 環境に配慮した素材を用いた製品
 - ・ 数々の要素技術を応用したり、組み合わせたりすることでレジ以外の業務改善に活用
- ▶ 将来に向けての先行的な取り組みに着手
 - ・ コンサルティング事業で培った30行を超える地銀ネットワークを活用した地方創生の取り組み
 - ・ インバウンドに対応した便利な追加機能の開発

3-4(1) イノベーション事業の実績

時期	場所	製品・技術	用途	概要
2019年4月～	(株)JCB 高田馬場オフィス (東京都新宿区)	ワンダーレジ	社内売店、弁当販売、 デリ(食堂)	- 無人販売により、売上高の増加と省人化を達成 - 習慣的にワンダーレジを利用
2019年4月～ 2020年5月	生活彩家 貿易センタービル店 (東京都港区)	ワンダーレジ	食料品、飲料などのエク スプレスレーン	- 一般の方が利用可能なワンダーレジ - 常設により操作方法が一般利用者にも浸透
2019年12月	昭和電工ドーム大分 (大分県大分市)	ワンダーレジ	オリジナルグッズの販売	- ぬいぐるみやタオルなどを認識して販売 - イベント会場での混雑緩和を検証 - イベントスタッフの不足を補う
2020年2月～ 2020年5月	トッパン・フォームズ(株) 本社 (東京都港区)	ワンダーレジ	社内売店	- 販売で業務提携するトッパンフォームズの社内売店に設置 - トッパンフォームズ社員の理解促進を通じて販売活動の強化をねらう
2020年6月～	ナンモダ百貨新冠本店 (北海道新冠町)	ワンダーレジ	地元の野菜の販売	- バーコードの無い野菜などを販売 - 現金での支払いに対応 - 過疎地域でのスタッフの採用難を解決
2020年8月～	昭和電工ドーム大分 (大分県大分市)	ワンダーレジ	弁当販売	- 短い時間に集中する混雑を緩和 - イベントスタッフの不足を補う
2020年10月	倉庫	センサー技術の応用	在庫管理ツール	- スーパーワンダーを構成する技術を応用 - 在庫管理システムへの活用を探る

研究開発の成果を活かして、製品・ソリューションのラインナップを拡げる

3-4(2) ワンダーレジの導入実績

- 野菜等バーコードの無い商品に対応
- 地域の特性に合わせて、現金精算にも対応



ナンモダ百貨の概要

場所	北海道新冠町 道の駅 サラブレッドロード新冠隣接の 「にいかっぴキッチン」内
取扱商品	地元産の野菜など
決済方法	交通系電子マネー、現金

- 特定の時間に混み合う店舗で、買い物客にシンプルでスピーディーな買い物方法を提供



トリズキッチンの概要

場所	昭和電エドーム大分 トリズキッチン (西コンコース内店舗)
稼働時間	大分トリニータのホームゲーム開催時
取扱商品	大分トリニータ選手プロデュース弁当など
決済方法	交通系電子マネー、ID、楽天Edy、WAON、nanaco

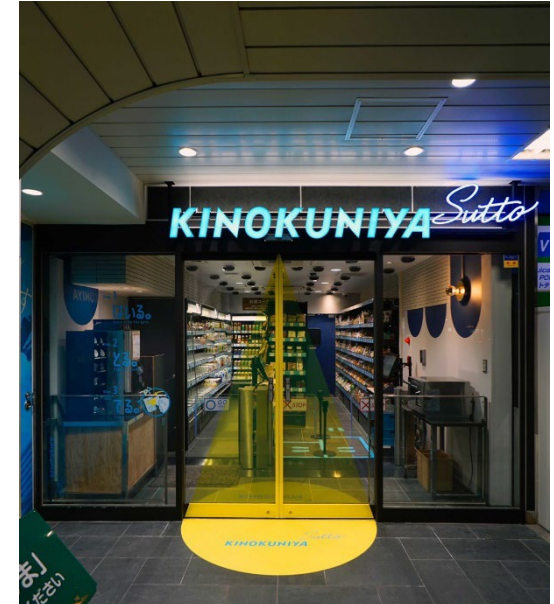
3-5(1) スーパーワンダー開発の変遷

時期	概要
2017年11月	JR東日本スタートアッププログラムで最優秀賞を獲得 JR大宮駅で初めてスーパーワンダーの実証実験を行う
2018年10月～ 2018年12月	JR赤羽駅のホームで旧キヨスクの店舗を改装して、無人決済店舗の実証実験を行う
2019年7月	スーパーワンダーの技術を活用した、無人決済店舗の早期実用化を目的にJR東日本スタートアップ(株)と合併で、(株)TOUCH TO GO(略称:TTG)を設立
2020年3月23日	JR高輪ゲートウェイ駅に無人決済店舗「TOUCH TO GO」をオープン
2020年7月	TTG増資 増資額3億円(引受:当社50.0%、JR東日本スタートアップ50.0%)
2020年10月16日	TTGの無人決済システムを導入した(株)紀ノ國屋の小型無人決済スーパー「KINOKUNIYA Sutto 目白店」がオープン
2020年11月	TTG増資 増資額3億円(引受:当社50.0%、JR東日本スタートアップ50.0%)

無人決済システムの拡販と新製品開発を通じて省人化ソリューションの先頭に立つ

3-5(2) KINOKUNIYA Sutto 目白店において稼働

- TTGによる無人決済システムの販売第1号
- 今後、更なる拡販を目指して、開発体制と営業活動の強化に取り組む



KINOKUNIYA Sutto 目白店の概要

場所	JR目白駅構内(改札外)
開店日	2020年10月16日
営業時間	平日:8:00~20:00 土日祝:8:00~19:00
面積	約40㎡
決済方法	交通系IC、クレジットカード

本資料の取扱いについて

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況の他、様々な要因によって見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、これらの情報を最新のものに随時更新するという義務や方針も有しておりません。また本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

私たちは、お客さまの経営・業務課題の解決に、お客さまの一員として道しるべを示し、発想・技術・実現方法に限界を設けることなく、サービス・製品を想像し創造することで、世の中を変え、時代を切り拓きます。

そして、私たちの取り組みにより、お客さまをはじめ社会の人々の笑顔を増やし、社会発展に貢献します。

